

IT点呼をすべての企業に。
はじめよう！ IT点呼 “IT点呼.com” オープンしました

飲酒運転防止のためのアルコール検知器及びIT点呼システムを開発・販売する東海電子株式会社(本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本 哲也)は、この度、情報サイト『はじめよう！ IT点呼 IT点呼.com』をオープン致しました。

1. IT点呼をすべての企業に。

トラック、バス、タクシー等、運輸事業者の点呼規則がここ10年で大きく変わってきました。現在IT点呼は、Gマーク事業所等一定の条件を満たす場合のみ認められています。しかし今もってなおコロナ禍にある社会からすると、運輸業界全体が、運行管理の一業務にすぎないIT点呼を使いこなせない状態では、業界全体のDXが進むはずもないと考えるのが自然です。運行管理現場のアナログ管理が、物流DXやデジタルガバメントのボトルネックにすらなりかねないとの危機感を、すでに国土交通省は持っていると言えます(国交省デジタルガバメント中期計画、プラン2025、物流政策大綱、運行管理高度化検討会を見れば明らか)。IT点呼は、今後、すべての事業者に活用されることが期待されています。

2. IT点呼ドットコムで出来ること



<https://it-tenko.com/>

IT点呼.comは、以下3つのコンテンツをご利用いただけます。

(1) IT 点呼シミュレータ（法令編・費用編）

現在の想定している運用が、事業法の IT 点呼規則に合致しているか判断できないという声を多く聞きます。どんな運用なら OK なのか NG なのか？ を「はい」「いいえ」を答えるだけで簡単にシミュレーションできます。また、現在使用している機器に何を追加すれば IT 点呼を始められるのか、投資費用も「はい」「いいえ」に答えるだけでシミュレーションできます。



(2) IT 点呼 ミニ講座

旅客・貨物の運行管理者資格を持ち、IT 点呼を数百導入したアドバイザーによるミニ講座です。

(3) IT 点呼 コラム

IT 点呼は安全規則に合致すべく開発されており、いずれの機能も重要な意義があります。とある機能が自社の課題を一気に解決する可能性を秘めています。ここでは点呼の実務や、点呼システムの各機能の法的な意義や使い方をご紹介します。



4. IT 点呼を運行管理高度化の入り口に

運行管理の DX は、点呼の IT 化・デジタル化から。

今後、デジタル化された点呼は、デジタルタコグラフ同様、運行管理 DX の両輪となります。

どちらが架けても、真の生産性は成り立ちません。そして、「すべての事業者が IT 点呼を」できるくらいにならないと、真の安全は実現しません。

“始めよう！IT 点呼 IT 点呼.com” を是非ご活用ください。

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部

東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル 203

E-mail: info@tokai-denshi.co.jp

<http://www.tokai-denshi.co.jp>